

2. 都市の実態と課題

2-1 佐世保市の概況

(1) 本市の位置付け

九州圏広域地方計画においては、基幹都市圏を核とし国際的・広域的な独自性の発揮と九州圏の自律的な発展を図るとされています。本市は長崎市などと一体的に長崎・佐世保・環大村湾都市圏を形成することが位置付けられています。

その中で本市は、長崎・佐世保・環大村湾都市圏における中心的都市として、海外との交流・連携による独自の国際感覚・文化の蓄積を活かした西の交流・連携とにぎわいの拠点の形成が求められています。

また、平成28年4月1日、佐世保市は本圏域の中心市となるべく中核市へ移行し、広域的な都市圏形成に向けて中心的役割を担うことになりました。平成30年9月には、平戸市、松浦市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、新上五島町、佐賀県伊万里市及び有田町の計11の自治体により「西九州させば広域都市圏」を形成し、本市はその圏域の中心都市として連携中枢都市宣言を行いました。その後、令和2年3月には本市と佐々町との間で連携協約を締結し、佐々町も「西九州させば広域都市圏」に加わりました。

そのため、これまで以上に、行政区域の枠を超え、結びつきのある自治体と横の繋がりを築き、医療や交通、産業などの分野において、圏域内の行政サービスや都市機能が連携しながら、地域の社会・経済のリーダーとして圏域を持続的に支えていくことが求められています。

さらに、グローバル化が進展する中で、地理的に東アジアに開かれた優位性を活かし、圏域全体を将来的に成長・発展させていく役割も求められます。

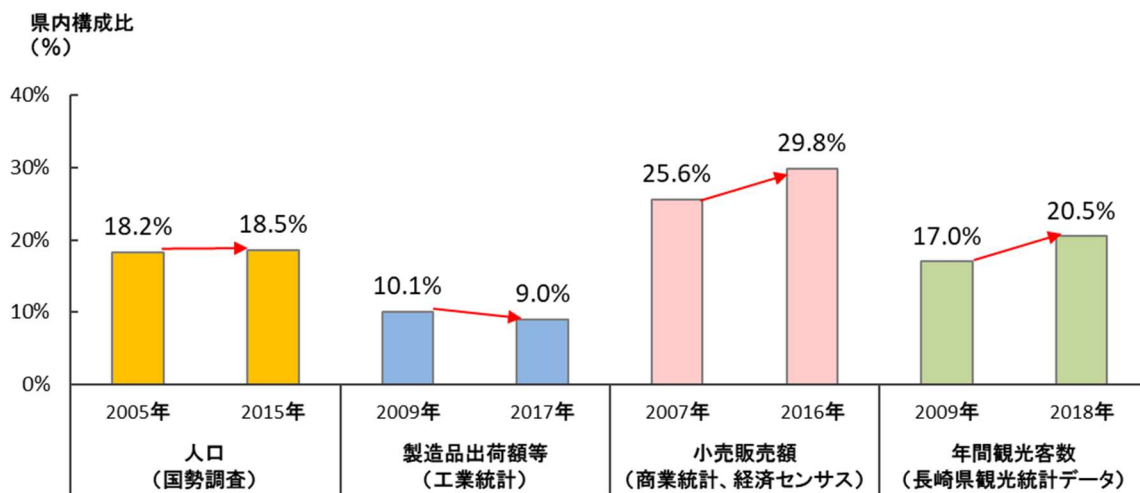


図 長崎県全体に対する本市の割合

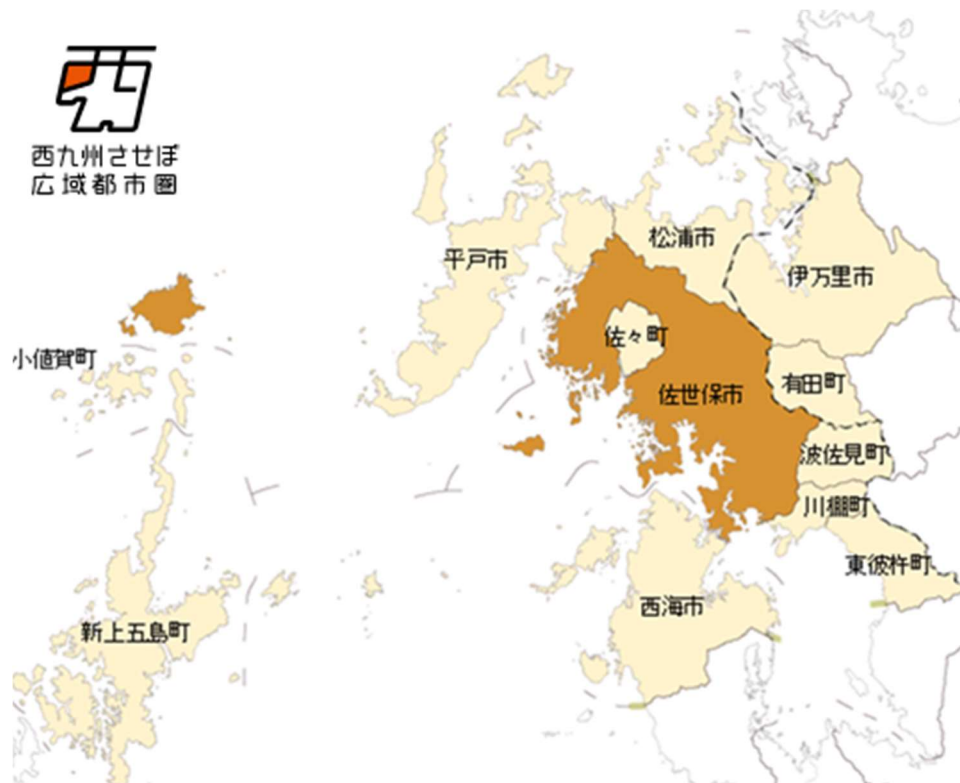


図 西九州させぼ広域都市圏

(2) 都市計画区域の構成

現在、市内には「佐世保都市計画区域」、「江迎都市計画区域」、「宇久都市計画区域」があり、「佐世保都市計画区域」は市街化区域と市街化調整区域の区域区分がある線引き都市計画区域であり、市街化区域には用途地域の指定があります。「江迎都市計画区域」及び「宇久都市計画区域」は、区域区分がない非線引き都市計画区域であり、用途地域の指定はありません。

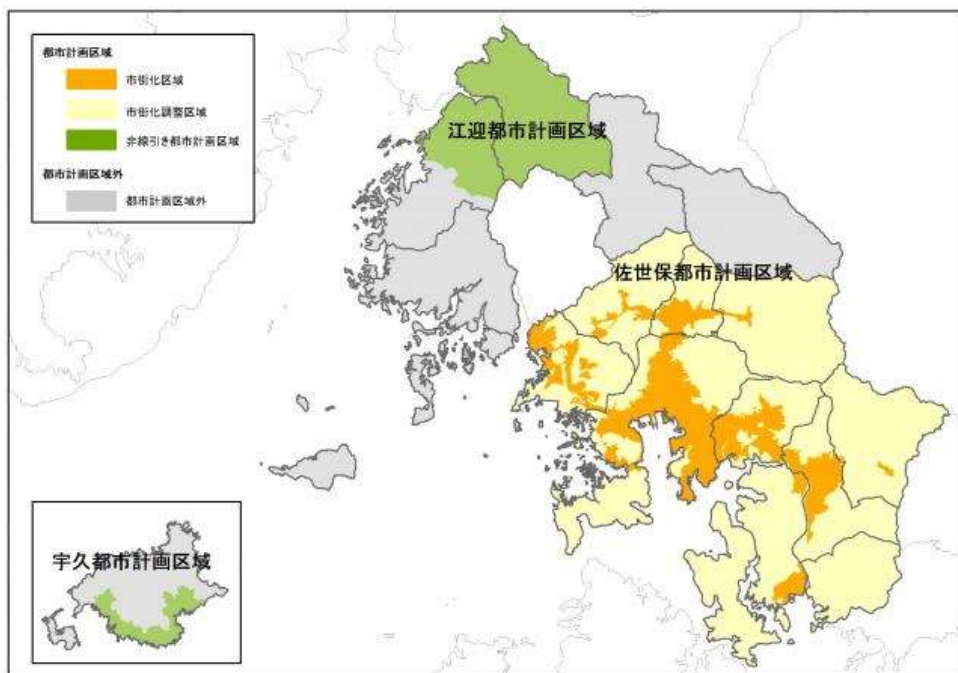


図 佐世保市の都市計画区域

(3) 人口の推移と見通し

① 総人口

本市の総人口は、微減ながら約 25 万人規模で推移していましたが、国全体の人口が減少に転じた中、本市も今後は急激な人口減少が見込まれています。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、15 年後（令和 17 年）には 22 万人程度となることが予想され、平成 27 年に比べ約 3.4 万人減と、急激な減少が見込まれています。

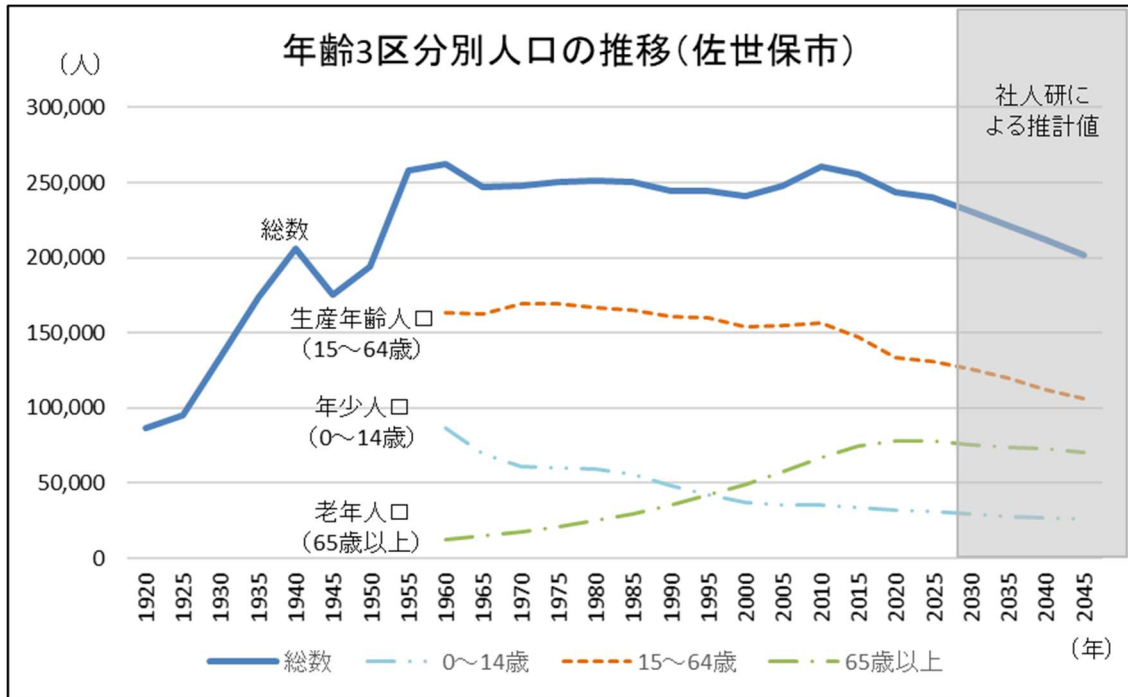


図 総人口及び年齢3区分別人口の推移と見通し

出典：国勢調査、社人研推計（H30）より作成

また、人口の年齢構成については、令和 2 年に高齢者数がピークに達し、その後減少に転じますが、年少人口及び生産年齢人口が減少する中で高齢化率は増加し、令和 17 年には高齢化率が 33.1%となり 3 人に 1 人が高齢者となると予想されます。

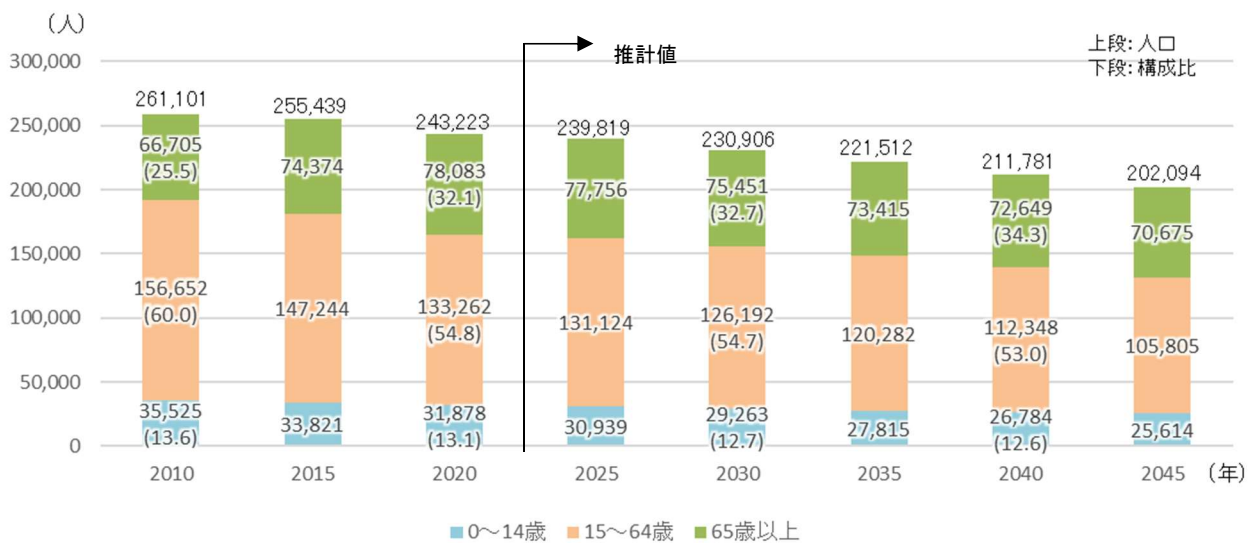


図 総人口及び年齢3区分別人口の推移と見通し

出典：2020（R2）までは国勢調査。2025（R7）以降は社人研（H30推計）より作成

社会増減を見ると、平成23年以降、一貫して転出が転入を上回っており、社会減が続いています。年齢階級別に見ると、15～19歳が20～24歳になる年齢層など若年層の転出超過が多くなっていますが、2010年から2015年にかけてはそれ以外の20～65歳の年齢階級においては概ね転入超過となっており、若年層の転出超過傾向を抑えるとともに、その後の20～30歳代での転入超過傾向を促すことが重要と考えられます。

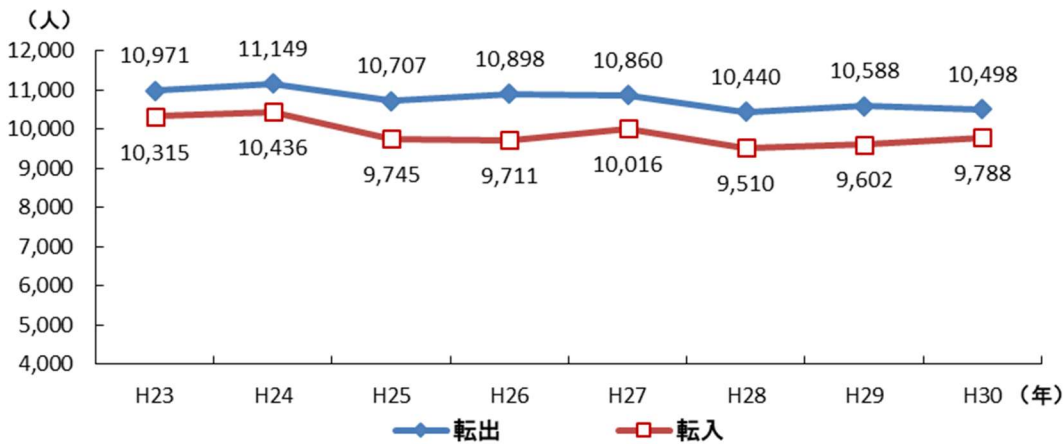


図 転入・転出の推移

出典：佐世保市統計書

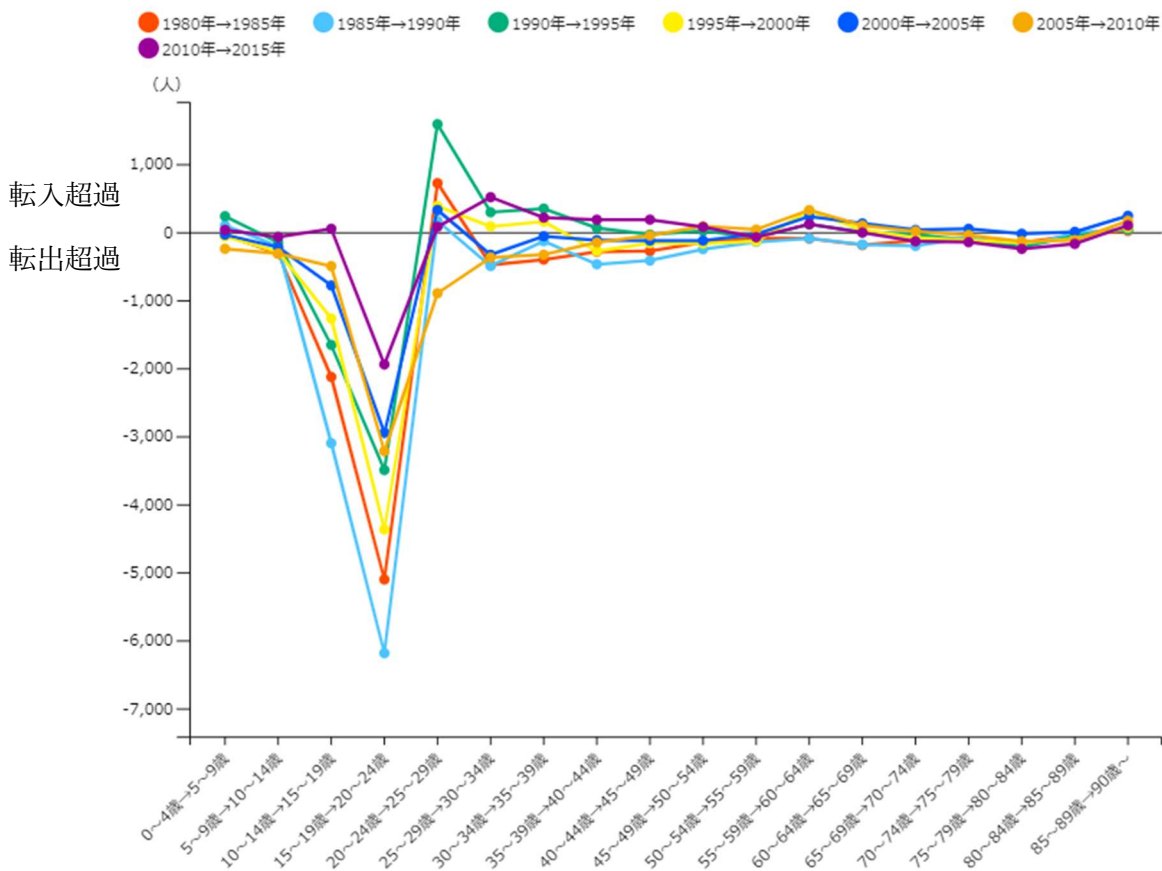


図 年齢階級別純移動数の時系列分析

出典：RESAS（国勢調査、都道府県別生命表に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成）

自然増減を見ると、平成 15 (2003) 年以降、出生数を死亡数が上回っており、自然減が続いています。合計特殊出生率は、平成元(1989)年以降、1.4～1.8 で推移しており、平成 17(2005) 年以降は増加傾向にあり、佐世保市の合計特殊出生率は全国平均より概ね 0.24 ポイント高い状態を維持しています。

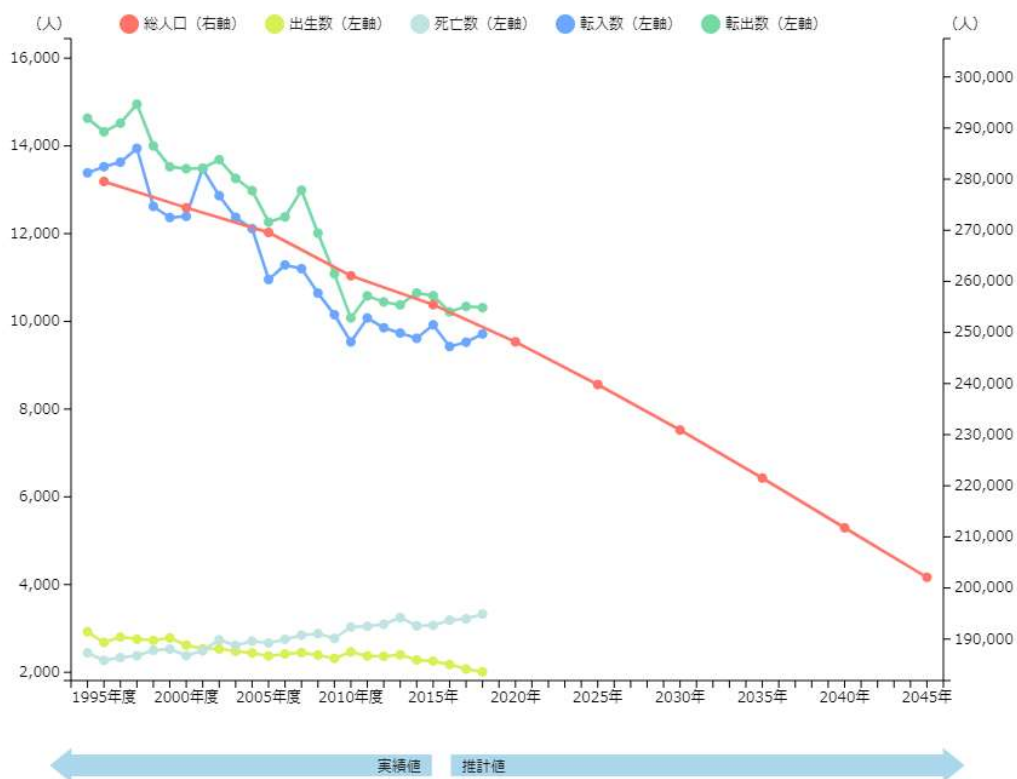


図 出生数・死亡数・転入数・転出数の推移

出典：RESAS（総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口」、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」)

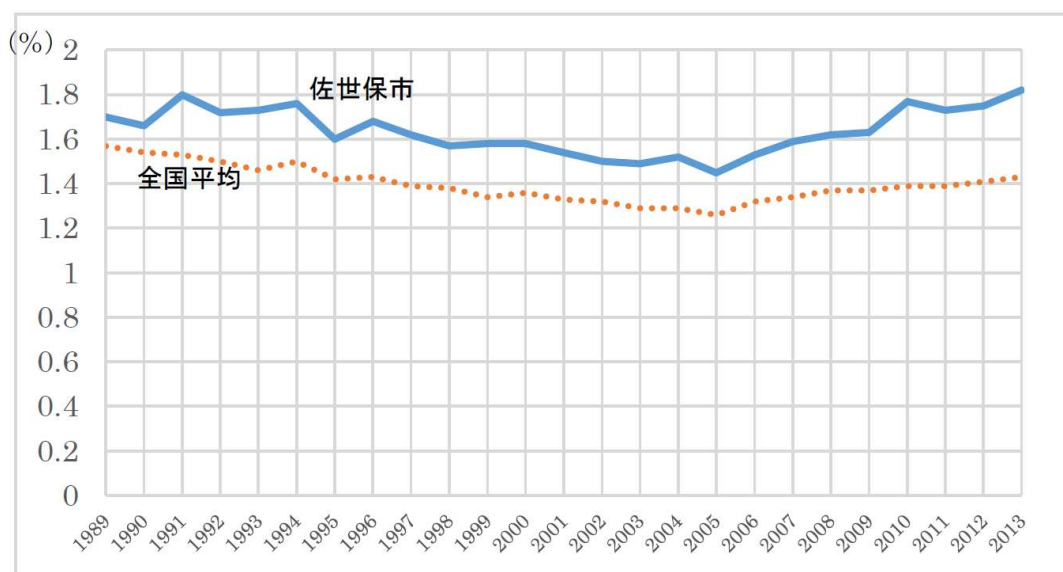


図 合計特殊出生率の推移

出典：佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略（厚生労働省「厚生労働統計・人口動態調査」より）

② 地域別人口

平成7年から平成27年にかけての地域別人口増減の推移を見ると、地域別の人口減少は、黒島、宇久などの島しょ部、宮、世知原、鹿町などの中山間部が特に顕著で、都心部である佐世保中央も20年間で0.83倍と人口減少が顕在化しています。

一方で相浦、早岐、江上の3地域では、平成27年人口は平成7年に比べて増加しています。

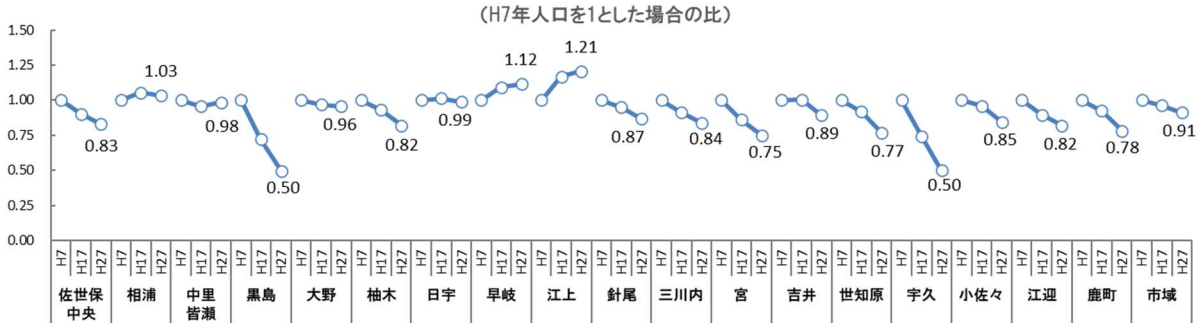


図 H7～H27 の地域別人口増減の推移

出典：国勢調査

平成17年から平成27年にかけての高齢化率の推移を見ると、高齢化は全ての地域で進行しており、黒島、宇久、世知原の3地域では平成27年時点で高齢化率が40%を超え、特に顕著です。

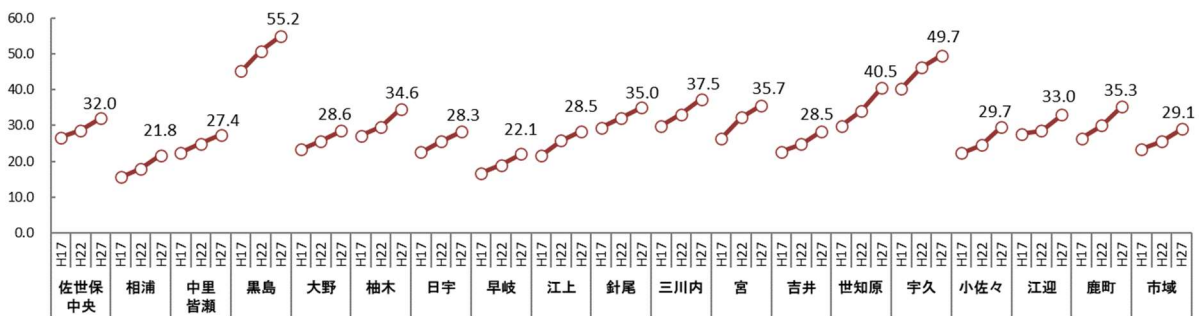


図 地域別高齢化率の推移

出典：国勢調査

平成 27 年から令和 17 年にかけての将来的な人口増減を見ると、全ての地域で減少するものの、地域によって差が見られ、特に黒島や宇久では約 4 割の減少が見込まれます。

また、実数としては平成 27 年から令和 17 年の 20 年間で佐世保中央では約 1.4 万人減少すると見込まれ、商圏人口が大幅に減少することにより都市機能の維持が困難になる恐れがあります。

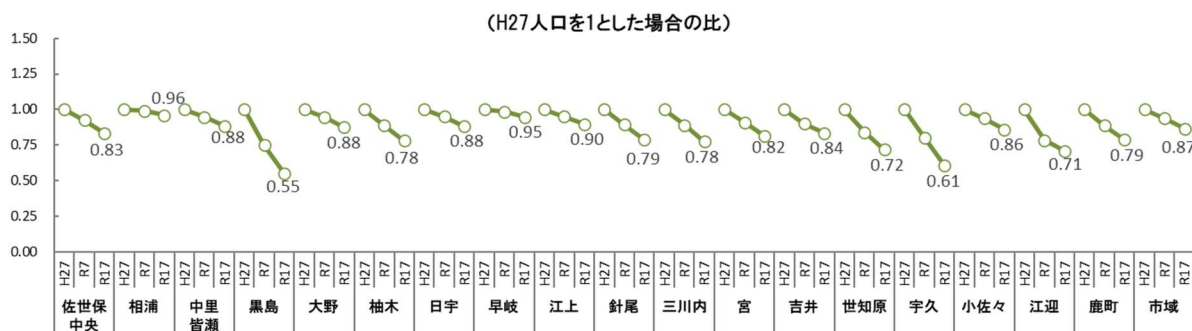


図 H27～R17 の地域別人口増減の見込み

出典：H27 は国勢調査。R7、R17 は社人研「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」による。

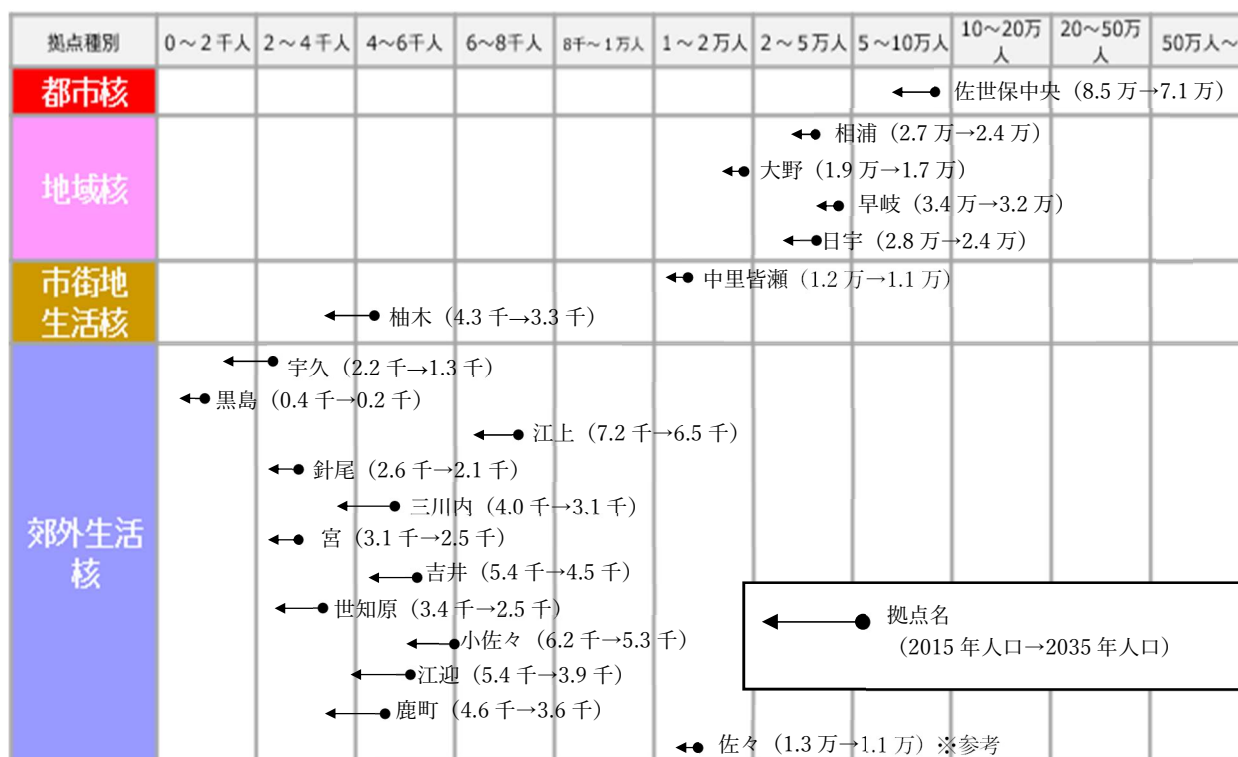


図 2015年～2035年の地域別人口増減(実数)の見込み

出典：2015年は国勢調査。2035年は社人研「日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）」による。

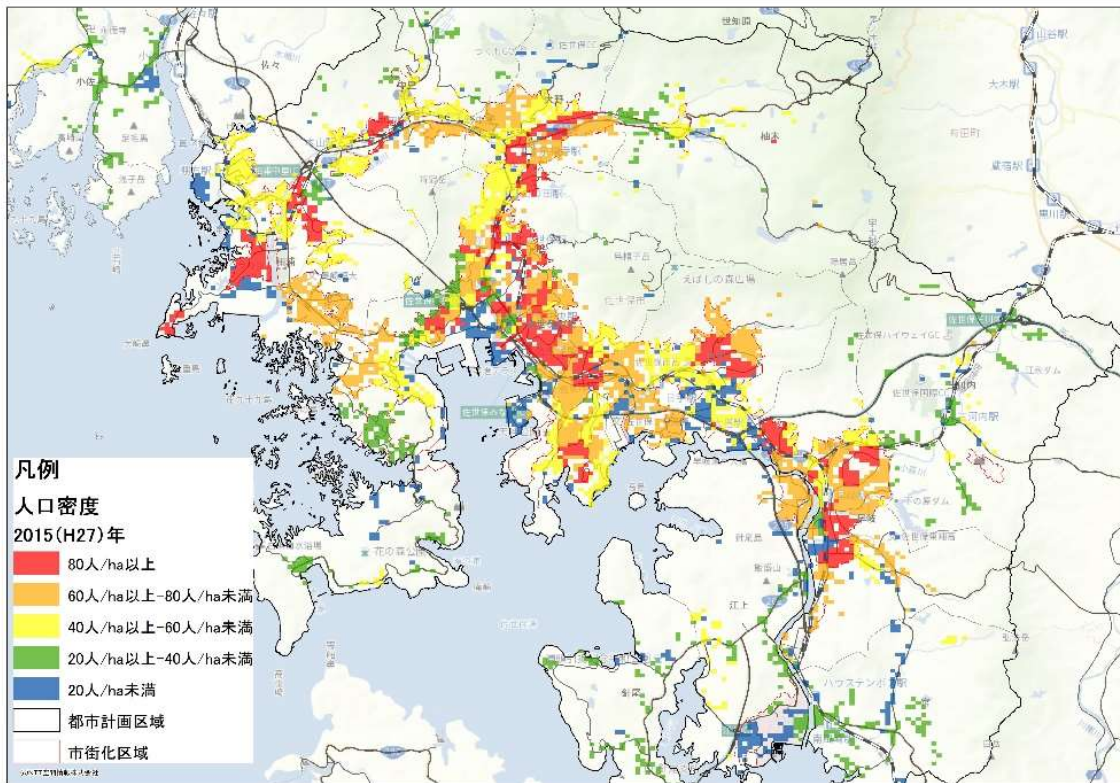


図 2015年の人口密度分布

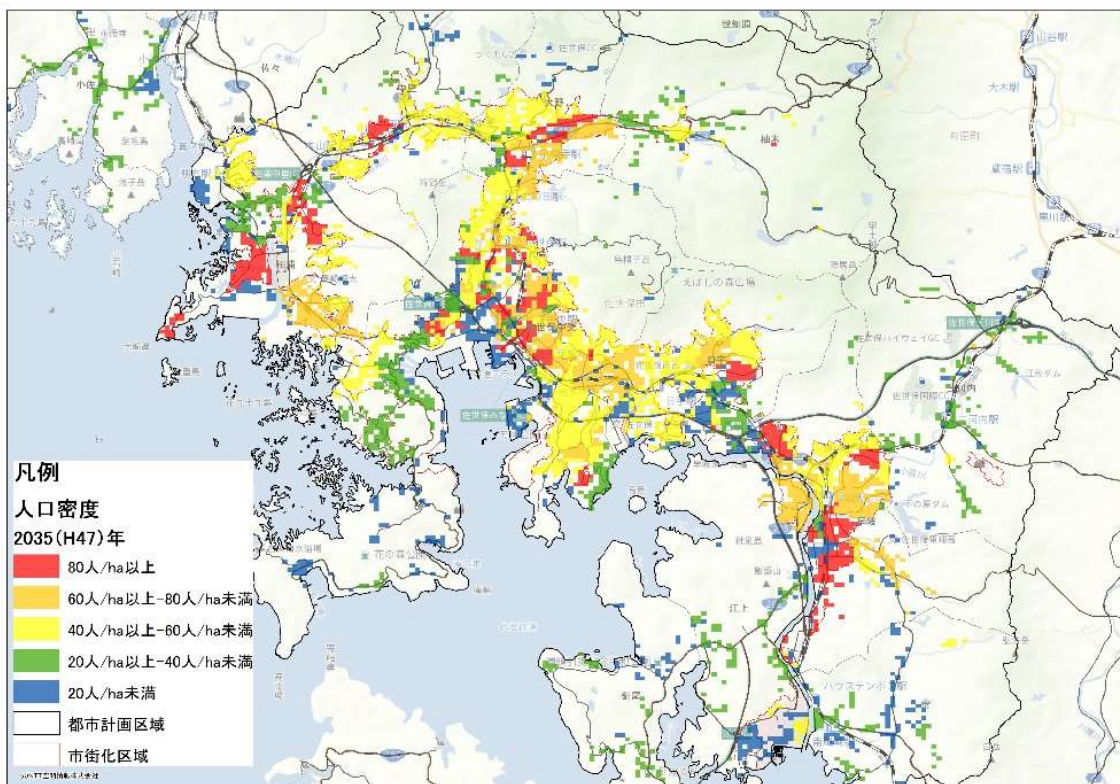


図 2035年の人口密度分布

(4) 産業活動

① 商業

本市の商業は、平成 24 年以降、小売、卸売ともに販売額は増加傾向にあります。

県内シェアを見ると、卸売、小売ともに横ばい傾向が続いています。

県内の市町別の状況を見ると、事業所数は卸売業が 535 件（県内の約 18.4%）、小売業が 1,838 件（県内の約 16.4%）、従業者数は卸売業が 4,619 人（県内の約 20.4%）、小売業が 12,941 人（県内の約 18.9%）、年間商品販売額は卸売業が約 2,539 億円（県内の約 17.6%）、小売業が約 3,800 億円（県内の約 28.3%）となっており、県内で有数の商業集積地となっています。

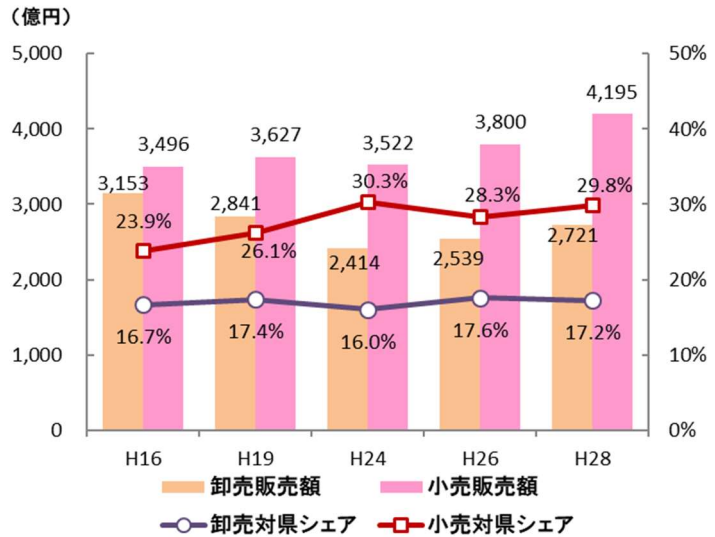


図 商品販売額等の推移

出典：商業統計・経済センサス

市町	事業所数		従業者数(人)		年間商品販売額(万円)	
	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業
県計	2,902	11,329	22,599	68,334	144,497,480	134,285,752
長崎市	916	3,132	8,469	20,966	72,149,326	37,966,107
佐世保市	535	1,858	4,619	12,941	25,387,135	38,002,073
島原市	123	514	824	2,591	4,117,910	4,960,198
諫早市	328	982	2,708	6,787	14,375,228	13,504,457
大村市	170	582	1,371	4,881	10,246,880	8,199,802
平戸市	45	371	235	1,367	747,605	1,981,177
松浦市	35	236	311	869	1,628,674	1,132,666
対馬市	80	364	343	1,352	2,116,493	2,025,955
壱岐市	70	370	364	1,593	797,479	2,529,999
五島市	86	523	362	1,977	2,282,520	2,865,860
西海市	35	232	148	1,095	402,178	1,394,990
雲仙市	98	430	520	1,922	1,092,499	2,980,943
南島原市	102	507	650	2,216	2,010,231	3,466,980
西彼杵郡	127	444	879	4,076	5,371,964	7,872,937
長与町	57	189	317	1,468	1,408,944	2,090,598
時津町	70	255	562	2,608	3,963,020	5,782,339
東彼杵郡	87	293	504	1,515	951,858	2,199,180
東彼杵町	9	57	31	289	98,843	392,751
川棚町	19	112	63	517	108,759	927,626
波佐見町	59	124	410	709	744,256	878,803
北松浦郡	35	184	203	977	539,405	1,635,207
小値賀町	4	40	8	107	9,194	125,918
佐々町	31	144	195	870	530,211	1,509,289
南松浦郡	30	307	89	1,209	280,095	1,567,221
新上五島町	30	307	89	1,209	280,095	1,567,221

図 市町別、事業所数・従業者数・年間商品販売額(平成 26 年)

出典：平成 26 年商業統計

第三次産業（公務を除く）の地域別事業所数の分布を見ると、佐世保中央には、全体の約48%の事業所が集積しており、その内訳は、卸売・小売、宿泊・飲食、不動産・物品賃貸、生活関連サービス・娯楽、医療福祉など多様な業種となっています。

佐世保中央以外では、日宇、相浦、早岐、大野において、卸売・小売を中心とした事業所の集積が多くなっています。

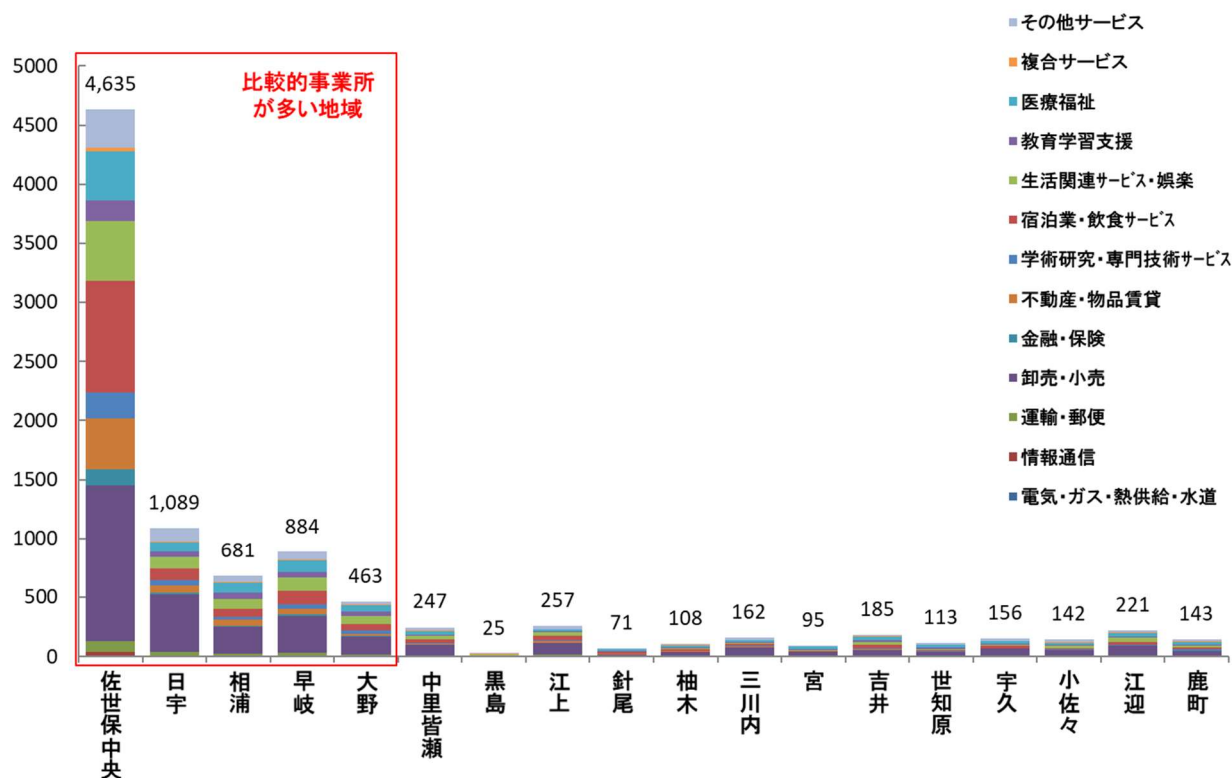


図 地域別事業所数の内訳(平成 26 年)

出典：経済センサス（基礎調査）

② 製造業

本市の製造業は、出荷額は、平成 28 年に 1,848 億円まで増加しましたが、平成 25 年からおおむね横ばいとなっています。

製造品出荷額等の県内シェアはこれまで 10% 台で推移してきましたが、平成 29 年には 9.0% に低下しています。

製造品出荷額等が多いのは輸送用機械器具であり、従業員数の特化係数も輸送用機械器具製造業が最も高くなっています。

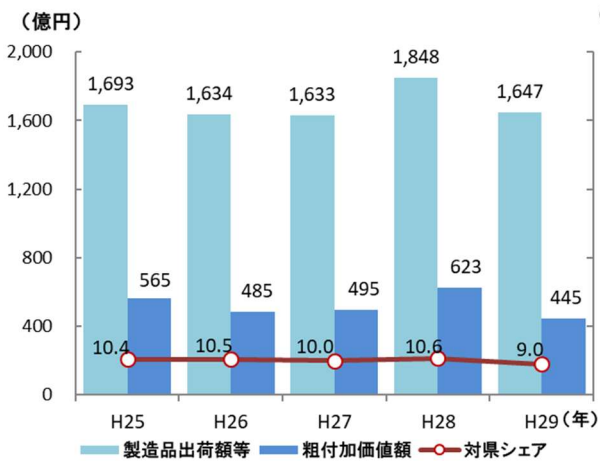


図 製造品出荷額等の推移

出典：工業統計

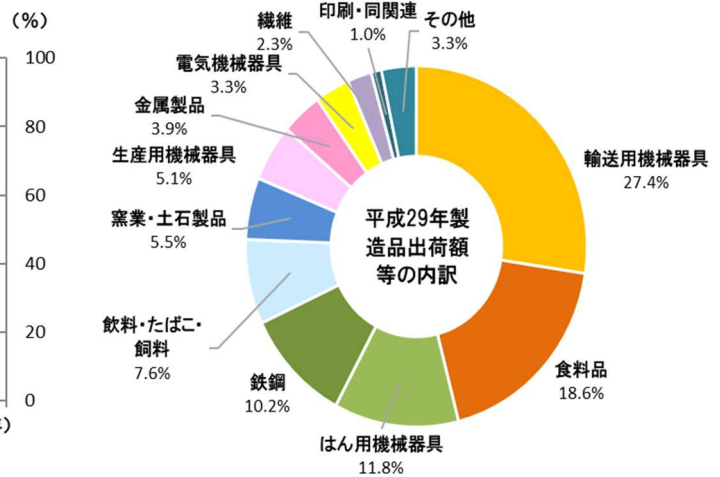


図 平成 29 年製造品出荷額等の内訳

出典：工業統計

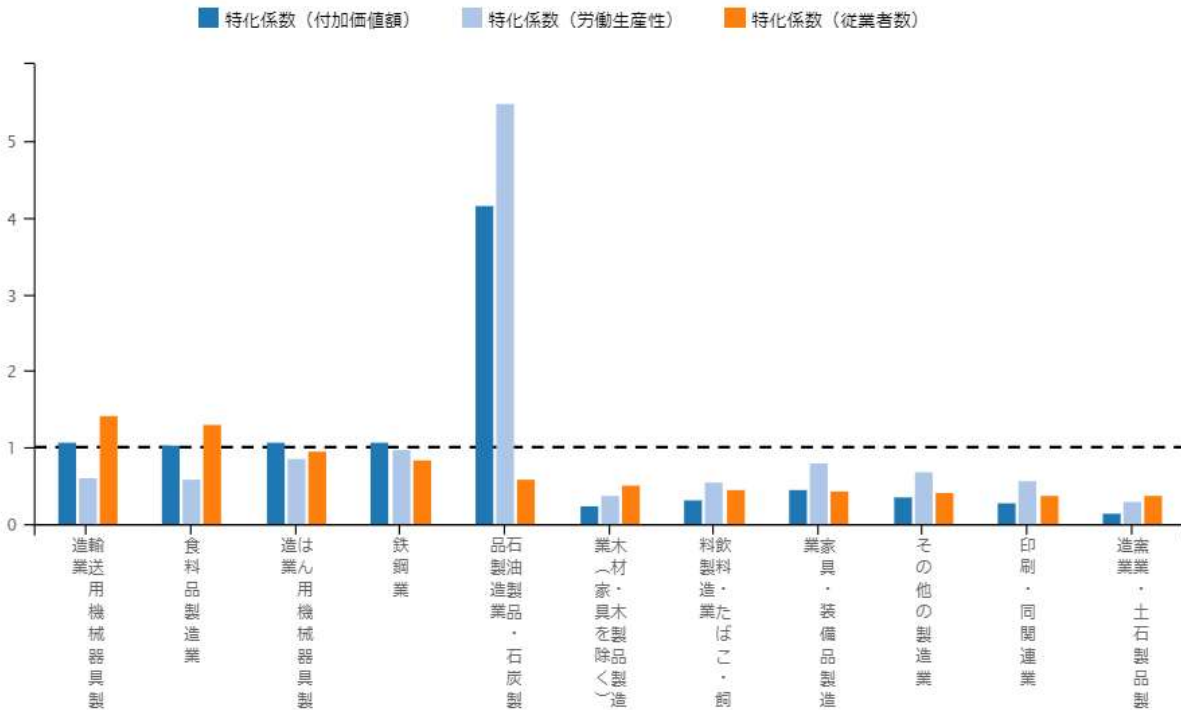


図 産業別特化係数(2016年)

出典：RESAS (経済センサス活動調査)

※特化係数：域内のある産業の比率を全国と同産業の比率と比較したもの。1.0 を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。労働生産性の場合、全国の当該産業の数値 1 とした場合のある地域の当該産業の数値

県内の市町別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等を見ると、本市の事業所数は県全体の15.2%（249事業所）、従業者数は県全体の13.0%（7,474人）、製造品出荷額等は県全体の9.0%（約1,647億円）となっており、製造品出荷額等では長崎市、諫早市に次いで県内で3番目に多くなっています。

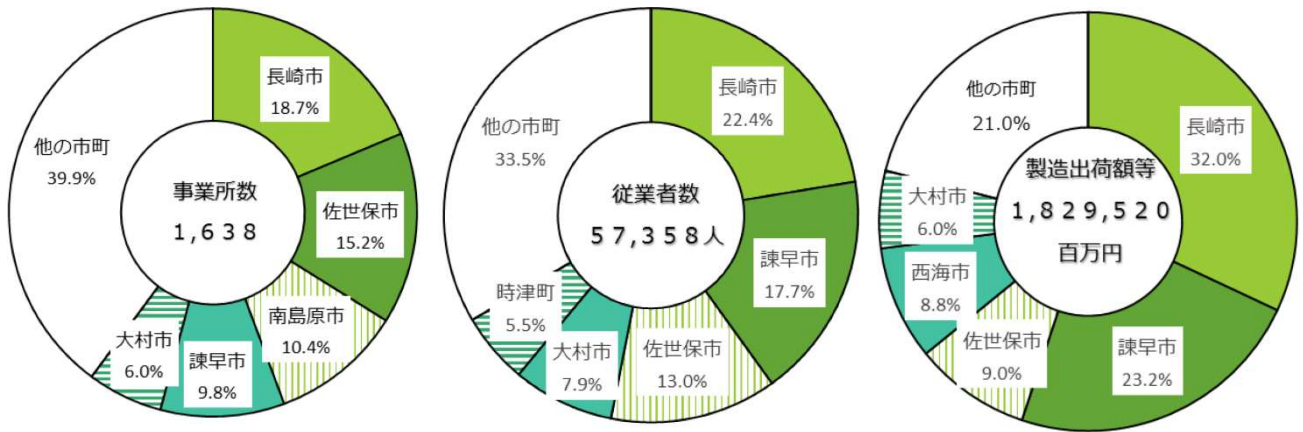


図 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の市町別割合 (平成 29 年)

出典：長崎県 平成 30 年工業統計調査 (確報・概要版)

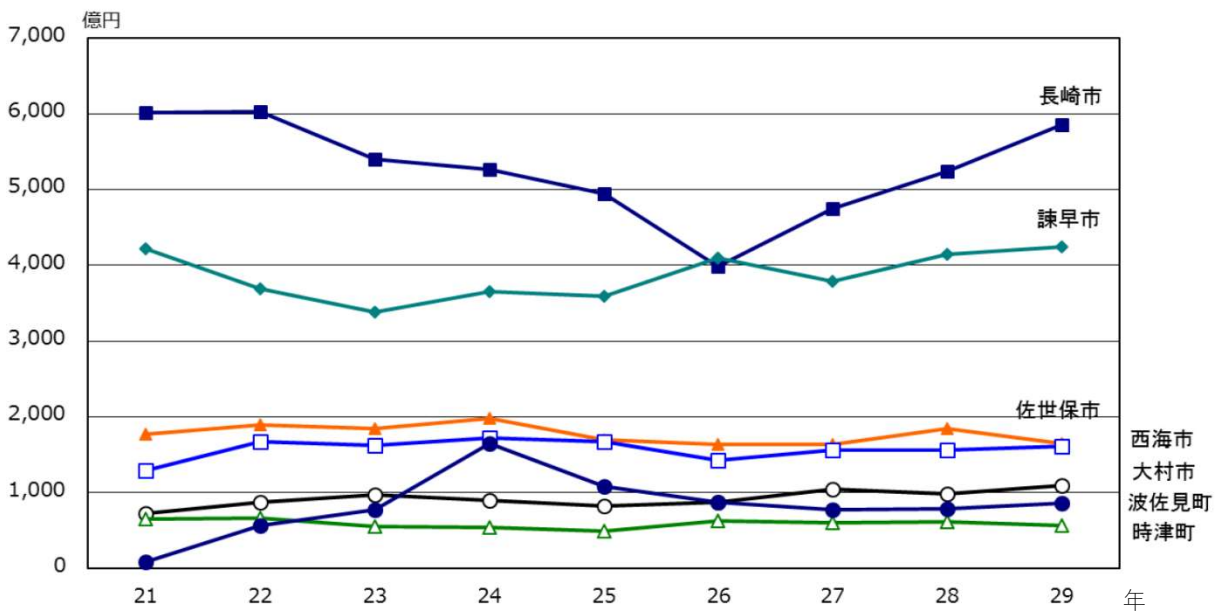


図 主要市町別製造品出荷額等の推移

出典：長崎県 平成 30 年工業統計調査 (確報・概要版)

③ 観光

本市を訪れる観光客延べ数は、平成 21 年の約 504 万人から平成 30 年には約 746 万人と大きく増加しています。観光消費額については、平成 27 年には最多の約 1,275 億円となりましたが、その後は減少傾向にあります。

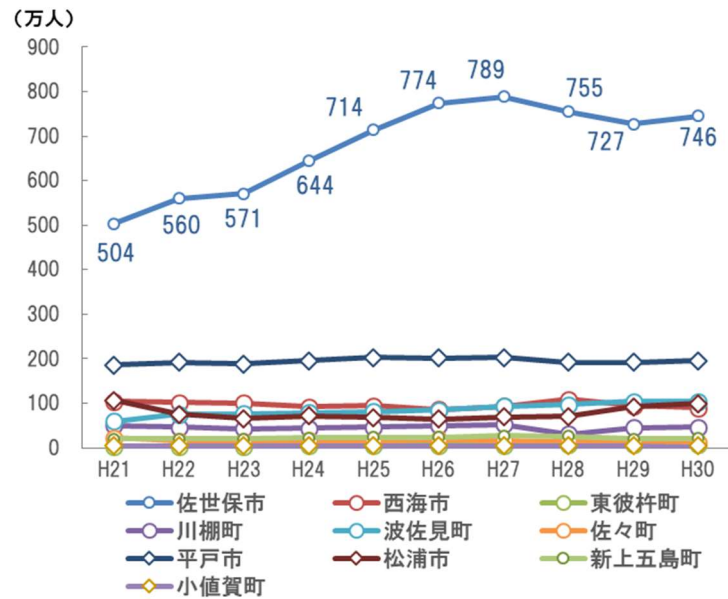


図 観光客延べ数の推移

出典：長崎県観光統計データ（平成 21 年～平成 30 年）

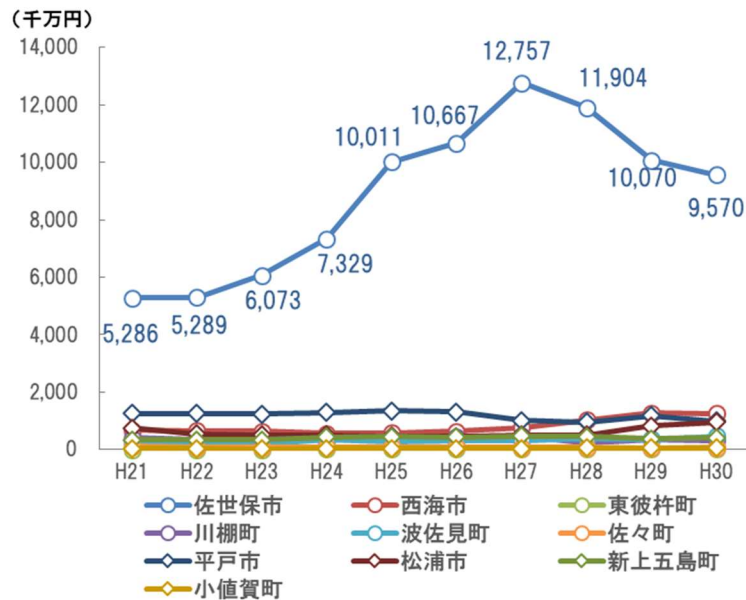


図 観光消費額の推移

出典：長崎県観光統計データ（平成 21 年～平成 30 年）

佐世保港では、国際旅客船の寄港の拠点形成を図る場所として、浦頭地区と三浦地区を位置付け施設整備を進めてきました。


平成26年4月から国際旅客船の受入れを開始し、年々外国船の寄港回数が増加しており、平成29年には84回、乗客数は10万人まで達しています。

1. 国際旅客船拠点形成計画の目標

佐世保港は東アジアに近い地理的優位性を生かし、カーニバル社とともに日本に寄港するクルーズ船のゲートウェイ機能を有した拠点港として発展していくことを目指す

表_目標年における寄港回数

	2020年 (平成32年)	2024年 (平成36年)
寄港回数(回)	295	395



2. 拠点形成に向けて取り組む事業 (国際旅客船取扱埠頭高度化事業等)

(1) 施設整備(ハード系施策)

- ・三浦地区(平成30年7月供用開始予定)
- ・浦頭地区(平成32年4月供用開始予定)

表_各主体の整備スケジュールイメージ

整備主体	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
市	駐車場等の整備			拠点供用開始
国		係留・水域施設の整備		
カーニバル社			旅客施設の整備	






図 佐世保港国際旅客船拠点形成計画の概要

出典：佐世保港国際旅客線拠点形成計画

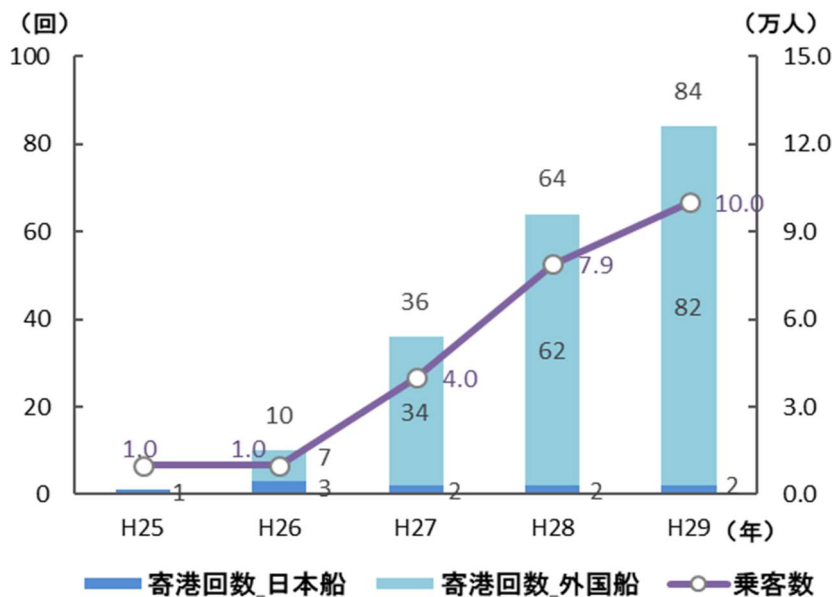


図 佐世保港のクルーズ船寄港状況

出典：佐世保港国際旅客線拠点形成計画